



「未だ巳の時」～新たな挑戦の年に～



新しい年が始まりました。不思議なもので、年が明けたというだけで、「新たな気持ちでがんばろう！」と思えることが多いのではないのでしょうか。年末の全校朝会では、「今年の漢字」を通して昨年を振り返り、去年と今年が違うように、これからの一年も確実に変わること、ぜひ自分自身の一年を振り返り、前向きな気持ちで新たな一年をスタートさせてほしいという話をしました。

今年の干支は巳、へび(蛇)年です。蛇というと、「蛇に睨まれた蛙」(へびににらまれたかえる→恐ろしいものや圧倒的に強い相手を前にして、身がすくんで動けなくなってしまうこと)、「藪をつついて蛇を出す」(やぶをつついてへびをだす→わざわざ藪から追い出した蛇にかまれること=余計なことで災いをうけること)、「蛇足」(だそく→蛇を描いた絵に足を書き添えること=なくてもよい無駄なもの、余計なつけたしをするたとえ)など、身近な存在であるとともに、恐れや災いの代名詞として使われることが多くあります。

一方で蛇は、脱皮をすることから「復活と再生」、長く生きることから「不死身や粘り強さ」のシンボルとされ、古くから信仰の対象として、土地の守り神や、豊穰(穀物が実り豊かなこと)の神、天候の神などとして崇められてきました。へびは財産を守ったり増やしたりするという信仰もあり、全国各地に蛇を神様としている神社もあります。

また、『巳(み)』は植物に種子ができ始める時期、草木が成長して次の生命がつくられる時期という意味もあるそうです。「巳の時 巳の刻」は、現在の午前10時頃を指し、「物事がたけなわであるころ、勢いが盛んなさま」という意味があります。表題にある「未だ巳の時(いまだみのとき)」とは、「上り坂の勢いであること」を表します。円蔵中も、これまでの伝統を引き継ぎつつ、新たなことに挑戦し、蛇が脱皮するように、さらにより良い学校を目指していきたいものです。

今年度もいよいよ残り3か月、3年生にとっては中学校生活最後の時間であり、進路決定をする大切な時期です。仲間と支え合い、不安や緊張を乗り越えてほしいと思っています。1・2年生にとっても一年の締めくくりであると同時に、次の学年への準備をする大事な時期となります。進級を前に思いを新たに、充実した生活を送ってくれることを願っています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さわやかな感動につつまれた「2学年駅伝大会」

12月23日、快晴の日差しの中、2学年の駅伝大会が実施されました。体育の長距離走のまとめとして、クラス対抗のグループ走駅伝という形で行いました。

開会式の「がんばりましょう！」の声とともに始まった駅伝大会の本番では、どのグループもお互いに励まし合いながらそれぞれの力を発揮し、一生懸命走っている姿を見ることができました。7組の皆さんも、一人ひとりが自分のペースでしっかり走り切っていました。

中には思うように走れなかった人もいるかもしれませんが、声を掛け合いながら走っている様子、周りがそれを応援し、支え合ってゴールを目指している姿、そして終わった後、「やり切った」という表情でお互いの健闘をたたえ合っている様子を見て、今回も、なんとも言えない清々しい感動がありました。終了後には、生徒の皆さんから、「仲間と物事を達成する力を身につけられた。」、「嫌いなことも、みんなで走ることによって好きになると感じた。」、「仲間と助け合い、楽しむことを実感した。」などの声が聞かれ、最後の遠藤先生の講評にあった、「中身を積み重ねてゴールしたからこそその達成感」ということを実感できる行事だったことが感じられました。

一生懸命取り組んだからこそ得られたものを大切に、そして閉会式の言葉にあったように、これからも助け合う力を大切に過ごし、さらに成長を続けていってほしいと思います。



駅伝大会結果:「優勝」…2組 「準優勝」…3組 「3位」…1組

*1位から3位まで、わずか30秒差という接戦でした!

